

えほんのおはや通信



2015年2月1日(日)発行 サンガこども園

お正月はいかがでしたか?年明けから雨が少なく、雪もほとんど降っていません。大人にとって雪はやっかいです。子どもには最高の遊びとなります。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」2月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「あつまれ～」 額田宣彦作</p> <p>「あつまれ～」の号令がかかると、離れていた赤いふたつのキューブが近づいて「びたっ」とくっつきます。今度は横一列に並んだ緑色のキューブたちが、「あつまれ～」の声で「びたっ」とくっつきます</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「ボクのヒコウキ」 たかべ せいいち作</p> <p>ブルルン プルプルと、ボクのヒコウキは空を飛びます。「のせてよのせてよ」という声に、モグラ、キツネ、クマを乗せて、ブルルン プルプル、ブルルン プルプル。ところが、牛を乗せたら、ブブブブ、重くて重くてもう飛ばません。</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「てっちゃんのゆきすべり」 丸木ひさ子作</p> <p>大雪の後、てっちゃんの家の前に大きな雪山ができました。この日を心待ちにしていたてっちゃんは、さっそく友達とスキーを楽しみますが・・・</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「まっくろめがね」 山崎英介作</p> <p>ようたくんはめがね屋のおじさんから、不思議なめがねを貸してもらいました。それをかけると、動くものがみんな真っ黒に見えるのです。</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「あかくん こうそくをはしる」 あんどうとしひこ作</p> <p>車の「あかくん」が、高速道路を走ります。入り口のゲートをくぐったら、スピードをあげて本線へ合流。高速道路は道が広いし、信号もないから、おもいっきり走れるよ!</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「じっちょりんのふゆのみち」 5歳から</p> 
<p>【雑感】</p> <p>かつては、12月8日や13日をお正月事始めの日としてお正月の準備を始め、1月15日までは松の内と言われました。最近では「どんど焼き」や「小正月」の行事も限られた地域でしか見られなくなりました。</p> <p>ユネスコに和食を無形文化財として登録されましたが、和食どころか、日本の行事はどれもこれも西洋化してしまっています。</p>  <p style="text-align: right;">文溪堂</p> <p>霜柱も立つようになった寒い冬、じっちょりんたちは、冬の姿で温かい春を待つ草花を観察しながら、冬に過ごす家に向かいます。そこには、おじいさんやおばあさん達も待っていました。冬の草花の生体や名前も分かる絵本です。</p> <p>※年齢は目安です。</p>	